

鍼の変化

鍼灸師
高橋 一史

私は今年3月から毎週土曜日に、もみじ坂鍼灸院に勤務している高橋一史といたします。

皆さん、鍼灸師が使用する鍼を見たことありますか？また、どんな形をしているか知っていますか？一般的に鍼をイメージすると、「痛い」、「怖い」などが挙げられると思います。また、お医者さんが使う注射針でイメージすると、「注射が痛いから怖い」となってしまうのではないのでしょうか。

しかし、鍼灸師が使う鍼の先は、注射針の先とは全然違うのです。注射針は、針先が竹を斜めに切った形状の為に、皮膚・筋肉などの組織を切りながら刺入されます。そのために痛みが生じやすくなります。鍼灸師が使う鍼の先は、松の葉に似ています。鍼の刺入時には、組織を押し広げて刺入されます。そのため、痛みが少なく刺入できると言われます。また、通常の鍼の太さは、直径が0・16mm〜0・2mmくらいで、髪の毛くらいの太さになります。

日本の鍼灸師が使う鍼、昔から

細かったわけではないです。中国の歴史を辿っていくと、鍼の原形は、石器時代の砭石（へんせき）と言われる石です。どのように使っていたかというところ、腫れているところを切開して、膿を出していたそうです。それから、殷代では、獣・動物などの骨を鍼として使いました。きつと、石の鍼だと痛かったんでしょね。痛みを最小限にして切開することができないかを考えて、石より細くて小さなもの、動物の骨鍼になったと思います。

1972年には、湖南省（こなんしょう）にある馬王堆（まおうたい）漢墓から、約2200年前の金鍼や銀鍼が発掘されました。また、2000年前に書かれた東洋医学の医学書である「黄帝内経（こうつていだいけい）」という本の中には、古代九鍼といわれる9種類の鍼があり、身体に刺す鍼や刺さない鍼（接触鍼）、身体の部位や場所、病の原因や状態によって、分けて用いることが記載されています。

鍼は日本に来てから時代を経て、加工技術が向上し、様々な用途に

対応し、人に刺しやすい鍼となつて、今の鍼の形となつていきます。

このように、鍼はその時代その病、その人に対して変化してきました。現在コロナ禍の中でストレスも加わり、身体には色々な変化が起こり、様々な症状が出ていると思います。その様々な症状に合わせて優しい鍼灸治療を目指し、皆様の健康のお手伝いをさせていただきます。



メディカルスパ西鎌倉



住所 鎌倉市西鎌倉1-18-3

TEL 0467-33-0121

営業時間

9:00~18:00 (最終受付) *予約制

休診日 日曜・祝日

施術メニュー

鍼灸 (一般鍼灸、美容鍼、不妊鍼灸)
心理カウンセリング 医療リンパドレナージ ヨガ
アロマセラピー カイロプラクティック オステオパシー

HP <https://www.medi-spa.jp/kamakura/>

メディカルスパみなとみらい



住所 横浜市中区桜木町1-1-7 コレットマーレ3F

医療モール内

TEL 045-263-6848 (鍼灸院)

045-651-2588 (カウンセリング)

営業時間 *予約制

[月~金] 11:00~19:00 (最終受付)

[土・日] 10:00~18:00 (最終受付)

休診日 祝日

施術メニュー

鍼灸 (一般鍼灸、美容鍼、不妊鍼灸)
心理カウンセリング

HP <https://www.kens-clinic.jp/minatomirai/>

メディカルスパもみじ坂



住所 横浜市中区花咲町3-103-3 ペイビュー横浜2F

TEL 045-567-6848

営業時間 *予約制

[月~金] 11:00~19:30 (最終受付)

[土・日・祝] 10:00~18:00 (最終受付)

休診日 不定休

施術メニュー

鍼灸 (一般鍼灸、美容鍼、不妊鍼灸)
医療リンパドレナージ

HP <https://www.kens-clinic.jp/momijizaka/>